「明治日本の産業革命遺産」年表-1　参考資料

海外の出来事、日本への影響	西暦	明治日本の産業革命遺産に関係する歴史	日本の歴史
1804年トレビックが蒸気機関車発明、その後スチーブンソン科料実用化成功 1807年蒸気船実用化	1808年	フェートン号事件発生　長崎奉行松平康英と佐賀藩家老が責任を感じて切腹、佐賀藩9代藩主鍋島斉直100日閉門	フェートン号事件の責任をとって長崎奉行が切腹 間宮林蔵樺太探検
	1810年	外国船対策として筑前福岡藩が長崎魚見岳台場設置	長崎に次々に台場が設けられた
1825年イギリス スチーブンソン世界初鉄道建設	1825年		異国船打払い令
	1829年		シーボルト日本地図の持出しが発覚し国外追放
1842年アヘン戦争終結、イギリスへ香港割譲	1837年		アメリカ商船モリソン号事件
	1842年		1846年アメリカビッドル浦賀来航、通商を求めるが幕府拒否
	1846年		
ロンドン万国博覧会	1851年	島津斉彬が集成館事業着手、反射炉の建設を始める	1850年佐賀藩が日本初の反射炉を築造し、鋳型で大砲を造る
ナポレオン3世第二帝政（～1970年）	1852年	集成館のための関吉の疎水溝完成、給水が始まる 佐賀藩10代藩主鍋島直正、日本初の反射炉を完成	
クリミア戦争勃発	1853年	ペリー艦隊浦賀来航、ロシアのプチャーチン長崎来航 佐賀鍋島藩士、プチャーチンの招きで初めて蒸気機関車模型を見学	佐賀藩四郎ヶ島台場築造 佐賀藩で造られた大砲が品川の台場に設置される
	1854年	吉田松陰が黒船へ密出国を図り捕われる	日米和親条約締結
	1855年	長崎海軍伝習所を開設、佐賀藩士航海術・造船技術を学ぶ　スンピン号（観光丸）がオランダより献上され、海軍伝習所の練習艦となる 佐賀藩で日本初の蒸気機関車の模型製造に成功する	日露和親条約締結、日蘭和親条約締結
アロー戦争イギリス九龍、ロシア外満州割譲	1856年	島津斉彬の養女篤姫が13代将軍徳川家定と結婚	アメリカ領事ハリス来日
	1857年	島津斉彬、反射炉が完成 島津斉彬　仙厳園の鶴灯篭にガス灯成功 長崎鎔鉄所着工（長崎造船所創業） 佐野常民　三重津海軍所の監督就任	松下村塾が開塾 長崎大浦に外国人居留地造成、長崎溶鉄所が起工
	1858年	反射炉の燃料として、寺山炭窯が築窯 佐賀藩独自で三重津海軍所にドライドッグを造る 薩摩藩11代藩主島津斉彬死去、忠義12代藩主となる	尊皇攘夷運動、安政の大獄 日露修好通商条約締結、日米修好通商条約締結、徳川家茂　第14代将軍となる
	1860年	「長崎製鉄所」と改称、工場落成（長崎造船所） グラバー来日	桜田門外の変、咸臨丸が初の太平洋横断
アメリカ　リンカーン奴隷解放宣言	1863年	集成館がイギリス海軍の砲火で焼失 グラバー住宅完成	薩英戦争、長州ファイブ（五傑）が密出国して英国へ 勝海舟、坂本龍馬が長崎
	1865年	三重津海軍所で日本初の蒸気船「凌風丸」完成 集成館機械工場竣工	「薩摩藩遣英使節団」が「密出国し英国へ（鹿児島） 坂本龍馬が亀山社中設立 大浦天主堂献堂式
	1866年	第15代将軍徳川慶喜	第2次長州征伐、寺田屋事件（坂本竜馬暗殺未遂）、薩長同盟、孝明天皇崩御、

イギリスの産業革命1760年～1830年を皮切りにベルギー、フランス、アメリカ、ドイツ、ロシアそして日本の順に起きていった

「明治日本の産業革命」
該当年次1850年～1910年

「明治日本の産業革命遺産」年表-2　参考資料

海外の出来事、日本への影響	西暦	明治日本の産業革命遺産に関係する歴史	日本の歴史
ノーベル　ダイナマイト発明、第2回パリ万博、発電機、水圧式エレベーター、ジャポニズム	1867年	鹿児島紡績所、技師館（通商異人館）竣工 佐野常民パリ万博で赤十字の存在を知る	坂本竜馬船中八策、いろは丸事件、大政奉還、王政復古の大号令、第2回パリ万国博覧会に初参加
エジソン　電気投票集計機発明	1868年 明治元年	高島炭坑　佐賀藩とグラバー商会共同経営で開発 長崎造船所、明治政府が長崎府判事総轄下で経営	鳥羽伏見の戦い、戊辰戦争、五箇条の御誓文、江戸城無血開城、明治政府誕生
スエズ運河開通	1869年	日本初蒸気機関による竪坑　高島炭坑が開坑 グラバー、小松帯刀、五代友厚らにより小菅修船場竣工	東京遷都 薩摩藩主島津忠義、版籍奉還を首唱
普仏戦争（～1871年）	1870年	明治政府が小菅修船場を買収、長崎製鉄所が管理を行う グラバー商会倒産	小松帯刀死去、東京～横浜電信線開通
ドイツ帝国成立（～1918年）	1871年	佐賀藩10代藩主　鍋島直正死去	廃藩置県、大阪造幣局開業、岩倉使節団出発、
	1872年	明治天皇が小菅修船場に行幸	新橋～横浜　日本初の鉄道開通 富岡製糸工場竣工、横浜で初のガス灯設置
	1873年	三池炭鉱を官営炭鉱にする	岩倉使節団帰国,日本坑法布告
ドイツ　オットー　ガソリンエンジン発明	1876年	高島炭坑　海水の浸入により一旦廃坑となる	廃刀令、日本初の民間銀行「三井銀行」開業
	1877年	集成館消失	西南戦争、佐野常民博愛社（日本赤十字社前身）設立
	1878年	團琢磨マサチューセッツ工科大学卒業（三池炭鉱） 三池炭鉱専用鉄道　馬車鉄道を開設	三新法制定
エジソンが白熱電灯を発明	1879年	三角西港を建築するローエンホルスト・ムルドル来日	沖縄県設置、教育令公布
	1881年	高島炭坑　三菱の所有となる	日本初の生命保険会社　明治生命保険会社創業
清仏戦争、フランスがベトナムを植民地化	1884年	長崎造船所　「郵便汽船三菱会社」が事業継承	長崎製鉄所が三菱経営に華族令制定
	1885年	伊藤博文内閣が発足（内閣制度創始）、五代友厚死去	
	1887年	三角西港完成 小菅修船場　三菱へ払い下げ 長崎造船所　三菱が施設一切を8万円で買取る 端島炭坑（軍艦島）の第一竪坑開坑	島津久光死去、保安条例公布・施行
ドイツ　ヘルツが電波受信実験成功	1888年	三池炭鉱　明治政府入札により三井が455.5万円で落札	市制町村制制定
フランス　エッフェル塔が完成	1889年	團琢磨が三井三池炭鉱社の事務長に就任 政府から三井へ三池炭鉱の経営権引き渡し完了	大日本帝国憲法発布 東海道線（新橋～神戸）全線開通
	1890年	端島炭坑（軍艦島）三菱の所有となる 三井組、三井物産、三井銀行の3社で三池炭鉱社設立 三角西港ローエンホルスト・ムルドル港調査開始	府県制・群制公布 第1回衆議院総選挙

「明治日本の産業革命遺産」年表-3　参考資料

海外の出来事、日本への影響	西暦	明治日本の産業革命遺産に関係する歴史	日本の歴史
エジソン　撮影用カメラ、映写機を発明	1891年	三池炭鉱専用鉄道開通	大津事件、足尾銅山の鉱毒が問題化
日清戦争開戦	1894年	三角西港　着工	日清戦争開戦、日英通商航海条約調印
イタリア　マルコーニが無線電信を作る	1895年	三池炭鉱宮原坑第一竪坑の着工	日清戦争終戦、下関講和条約締結、三国干渉
ドイツのディーゼルがディーゼル機関を完成 マルコーニ　世界初の無線電信会社を設立	1897年	旧鹿児島紡績所技師館（通称異人館）閉鎖 三池炭鉱万田坑開発 三池炭鉱専用鉄道が現在の鹿児島本線と直結	貨幣法公布、金本位制が確立
戊戌政変、フランスキュリー夫妻ラジウムを発見	1898年	長崎造船所　旧木型場竣工 三池炭鉱宮原坑第一竪坑の排水揚炭設備完成・開坑	
オランダハーグ万国平和会議が開催	1899年	官営八幡製鉄所　旧本事務所開設	
第1回ノーベル賞、イギリス　ビクトリア女王死去、シベリア鉄道運行	1901年	官営八幡製鐵所東田高炉の火入れ 三池炭鉱宮原坑第二竪坑竣工	最後の琉球王国の王・尚泰死去、岩倉使節団で渡欧した中江兆民死去
	1902年	三池炭鉱万田坑第一竪坑完成 三池港着工	日英同盟、八甲田山遭難事件
ミラノ　スカラ座でプッチーニ蝶々夫人初演	1904年	長崎造船所　占勝閣竣工 三池港　防波堤工事完成 官営八幡製鉄所　東田第一高炉安定操業開始	日露戦争（～1905年） 二百三高地占領
ポーツマス条約 孫文らが中国革命同盟会を結成 ロシア帝国　血の日曜日事件	1905年	長崎造船所第三船渠完成、「占勝閣」東伏見宮依仁親王命名 三池炭鉱専用鉄道　三池港とつながる 三池港　閘門工事着工	日本海軍　東郷平八郎バルチック艦隊撃滅 ロシア軍が降伏、乃木希典とロシア軍司令官ステッセル会談
フランス　コルニュヘリコプター試験飛行成功	1907年	島津家水天渕圧電所建設	小林一三　現阪急電鉄を創設
中国　西太后死去 ドイツ　ツェッペリン気球船飛行に成功	1908年	三池港築港完成 グラバー、伊藤博文らの推薦で明治天皇より勲2等旭日重光章受章 三池炭鉱万田坑第二竪坑完成 三池港閘門式ドック完成	鉄道国有化に伴い鉄道院設置
マルコーニ　ノーベル物理学賞受賞	1909年	長崎造船所　ジャイアント・カンチレバークレーン輸入、竣工	伊藤博文暗殺
ロシア　トルストイ死去	1910年	官営八幡製鉄所　遠賀川水源地ポンプ室建設	韓国併合

「明治日本の産業革命遺産」年表-4　参考資料

海外の出来事、日本への影響	西暦	明治日本の産業革命遺産に関係する歴史	日本の歴史
辛亥革命	1911年	トーマス・ブレーク・グラバー死去	工場法公布（のちの労働法）
中華民国成立、タイタニック号沈没	1912年	三池炭鉱専用鉄道　一部電化	明治天皇崩御(明治45年、大正元年)、南極探検
	1915年	長崎造船所　旧木型場増築	
ロシア革命ロマノフ王朝滅亡	1917年	長崎造船所「三菱造船株式会社長崎造船所」と改称	
ソビエト連邦樹立	1922年	官営八幡製鉄所　旧本事務所　鉄鋼の研究所となる	アインシュタイン来日
トルコ共和国建国	1923年	三池炭鉱専用鉄道全線電化 集成館　博物館尚古集成館となる	関東大震災
第二次世界大戦勃発	1939年	グラバー住宅、三菱重工業㈱に売却	ノモンハン事件
朝鮮戦争勃発、中国国民政府が台湾に移る	1950年	官営八幡製鉄所　遠賀川水源地ポンプ室　電動モーター化	公職選挙法公布
サンフランシスコ講和会議	1951年	三池炭鉱万田坑採炭中止	サンフランシスコ講和会議
朝鮮休戦協定、エリザベス女王2世戴冠式	1953年	小菅修船場閉鎖	スト規制法公布
1962年キューバ危機	1957年	長崎造船所開設100周年記念としてグラバー住宅を長崎市に寄贈	日ソ通商条約調印
1975年ベトナム戦争終結	1974年	端島炭坑（軍艦島）閉山、3ヶ月後無人島となる	小野田寛郎元少尉　ルバング島から30年ぶりに帰国
プラザ合意	1985年	三菱重工業㈱　長崎造船所　旧木型場を史料館として開設	男女雇用機会均等法制定
ソ連　チェルノブイリ原発事故	1986年	高島炭坑閉山	チャールズ皇太子・ダイアナ妃来日
香港　中国返還、マザーテレサ死去	1997年	三池炭鉱万田坑閉山	地球温暖化防止京都会議が開幕、山一証券破綻

■　年表作成及び本文においてのお詫びとお断わり　■

①掲載史実は、できる限り公的資料を基に転載していますが、明治以前の内容は出典資料により異なることもあり、不確かな内容が含まれる場合があります。

②日本は明治5年12月2日（1872年12月31日）まで太陰太陽暦（旧暦）を採用していたため、西暦とのずれが生じています。記載の西暦年号は紙面の都合もあり、グレゴリオ暦（西暦）を使用。和暦とは異なるため、史実によっては微妙に掲載年が異なる場合があります。また、調査開始、開坑、開発、着工、竣工、完成なども披露が行われた日や、実際に使用が開始された日であったり、引用資料により異なっております。

③小菅修船場の完成は明治元年12月だったため、資料によっては完成1868年と表記されている場合もあります。日本は明治5年12月2日（1872年12月31日）まで太陰太陽暦（以下、旧暦）を採用していたため、西暦とのずれが生じています。どちらも間違いではありません。